

ポストモダン・ビジネス研究会

The Art of Organizing ' Diversity & Intellect '

今日のビジネスは、3つの異なるビジネス・パラダイム（ビジネスの見方・考え方）が重なりあっています。ものづくりと販売促進が中心の旧態依然とした第1カーブ型、顧客関係づくりを重視する第2カーブ型、そして従来とはまったく異なる発想と方法で進められる第3カーブ型です。

この研究会では、まずそれぞれのちがいについて簡潔に概観します。そのうえでビジネスのポストモダンである「第3カーブ・ビジネス」の重要トピックスに焦点をあてます（全7回）。それぞれ関連する論文を読みこみながら、これからのビジネスをめぐる大きな見通しと新たな展望についてご案内します。本研究会は、2015年に実施したプログラム（全13回）の続篇ですが、この研究会から参加した方でも、十分楽しんでもらえるよう工夫をしてあります。

ここでいう「ポストモダン」とは、たんに〈モダン=近代のあと〉の、という時代区分を指すのではなく、既存の業界常識や思考枠組みを抜け出して、新しいものの見方と価値観を探索し、表現する知的態度を指しています。それぞれの領域がかかえる手詰まりを超え、あらたな展開をめざす方々に、ぜひお越しいただきたいと思っています。

プログラム 各回 19:00～20:30

4/19	第1回	ビジネス・パラダイムの転換 — 「第3カーブ・ビジネス」の登場 —	概説	第1回
5/17	第2回	「強いリーダー」は墮落する — 「リーダー不要論」の試み —	人間行動篇	第2回
6/14	第3回	「共感（empathy）」の生物学的基盤 — 「資本・暴力・共感」の新たな構図 —		第4回
7/19	第4回	社会的知性と共振する知（co-science） — 「あいだの知」のスパイラルな展開 —	集団知性篇	第4回
8/23	第5回	テクニウムのなかの活動理論（activity theory） — 成果・効果のための組織・制度・メディア論 —		第6回
9/27	第6回	多層化する権力システムとマルチチュード — 派閥形成から、持続する価値創造運動へ —	社会構想篇	第6回
10/25	第7回	信任社会と法の概念 — ポスト資本主義社会の構想と実現にむけて —		第7回

いままでとはちがう思考枠組みをつくり直そう、と考えるのは、柔軟性のある賢明な人ならば、変化する現実を前に、

● 講師

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表

慶應義塾大学 博士〔政策・メディア〕

慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

● 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了後、シンクタンクに所属し、コーポレート・ブランディングに携わる。LINE等の母体企業であるハンゲームジャパン(株)の創設メンバー。初代チーフ・マーケティング・オフィサー(CMO)兼 副社長を経て、設楽剛事務所を設立。革新型経営者のアドバイザー。今後の大きな展望と方向性をイメージできるよう、新たなビジネス・パラダイム(ビジネスの見方・考え方)の導入・形成に取り組んでいる。対話的に未来構想を描く「ナラティブ・アプローチ」を重視。

● 論文(査読付)に、「物語ブランディングの政策効果」(政策情報学会)、「ブランディングにおける物語効果」(情報文化学会)。

● 公式サイト: archipelagos.jp



会場 公益財団法人 国際文化会館

〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

電話: 03-3470-4611 URL: i-house.or.jp

● 申込み: ウェブよりお申し込みください。

archipelagos.jp/postmodern.html